

## 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム

このプログラムはがんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「国際協力型 がん臨床指導者 養成拠点」の教育コースの一環として開講するものである。  
 国際協力型がん臨床指導者養成プログラムを履修する者は、あらかじめ所属研究室の責任者の承諾を受けた上で、事前に次頁の注)に示す、所定の手続きを行うこと。  
 その上で以下の必修科目、選択必修科目及び選択科目を合わせて30単位以上履修すること。

### 【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数	
専門基礎科目	専攻共通科目	必修「イニシエーションセミナー」(1単位) (生命システム医学専攻に所属する学生のみ必修)	11~12	}
		必修「医学研究概論」(1単位)		
		必修「医学セミナー」(3単位)		
		必修「医学特殊研究」(2単位)		
		必修「医学特別演習」(5単位)		
専門科目	専門科目	必修「生命システム医学概論」(1単位) 必修「疾患制御医学特殊研究」(2単位) (所属する専攻の科目を履修すること)	1~2	}
	がんプロ必修科目	必修「がんの基盤的知識」(2単位)	8	
		必修「総論:臨床腫瘍学」(1単位)		
		必修「各論:臨床腫瘍学」(1単位)		
		必修「臨床研究と統計学」(1単位)		
		必修「がんと倫理」(1単位)		
		必修「精神腫瘍学・社会腫瘍学」(1単位)		
	がんプロ選択科目	所属するグループが開設している科目を4単位以上履修すること	4~	
がんプロ選択必修科目	各コースの定める選択必修科目を履修すること(別紙参照)	4~16		
修了単位数			30	

・上表に基づき30単位以上を修得し、中間評価の合格を経て、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。  
 (国際協力型がん臨床指導者養成プログラムで開設する上記2)及び3)に関しては、主にコンピュータ上で受講するがんプロ専用eラーニングシステムで行う)

注) 所定の手続きとは、通常のコンピュータ上(TWINS)での履修申請に加え、大学院教務へがんプロ教育コース履修申請書(専用用紙)を提出する事である。(がんプロ専用eラーニング聴講用ID、パスワード発行のため)

このプログラムは、本学独自のプログラムであり、プログラム修了者に人間総合科学研究科医学2専攻において『国際協力型がん臨床指導者養成プログラム修了』認定書を交付する。

各コースの選択必修科目について

コース名	選択必修科目名(単位数)
放射線・粒子線腫瘍学指導者コース	「臨床腫瘍学(放射線腫瘍学)講義及び実習」(4単位)
腫瘍外科学指導者コース	「臨床腫瘍学(外科系)講義及び実習」(4単位)
集学的臨床腫瘍学指導者コース	「臨床腫瘍学(内科系)講義及び実習」(4単位)
包括的がん治療・ケア医療者指導者コース	「緩和医療・精神腫瘍学講義及び実習」(4単位)
がん医療開発研究指導者コース	「基礎腫瘍・がん医療開発講義及び実習」(4単位)
先端医療医学物理学指導者コース	「基礎医学物理学」(6単位)
	「治療医学物理学」(6単位)
	「医学物理学総合実習」(4単位)
	} 16単位
がん薬学研究指導者コース	「臨床腫瘍学(薬学系)講義及び実習」(4単位)